

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人のぞみ
施設名	白鳥水の里こども園
報告者（役職）	高橋 ゆい（ 事務員 ）
住所・連絡先	宮城県登米市迫町佐沼字新駒木袋 348-1
	☎ 0220-23-9811
	E-mail mizunosatokodomoen@nozomi-siratori.or.jp

○タイトル（保育計画）

発見と憩いの図書スペース

○主な助成備品

絵本、ベンチ、ソファ、テーブル

1. 保育計画策定の目的

平成31年4月に開園した白鳥水の里こども園は、当初、図書室にある壁一面の本棚の中には絵本や紙芝居がほとんど並んでいませんでした。また、落ち着いて本を読むことのできるテーブルやベンチなどもなかったため、お子さんがのびのびと本を楽しむ空間とは言えず、図書室としての役割を果たしていませんでした。

創造性豊かな世界を表現した絵本、細部まで鮮明に写した昆虫写真や、地球上に存在する様々な動植物を集めた図鑑など、本に親しむことでたくさんの世界を知ることができます。また、季節の行事や、着替え、歯みがきなどお子さんの身の回りのことも教えてくれます。

今回この図書室を、絵本や紙芝居などが置いてある単なる図書スペースではなく、お子さんの興味関心、感性や想像力などが育まれよう、集中して本を楽しむことのできる空間にしたいと考えていました。そのために、様々な種類の絵本、紙芝居、図鑑などをそろえ、落ち着いて本が読めるようにソファや机、椅子などを用意し、憩いの場所となるような空間にしたいという思いがありました。

2. 具体的な実施内容

- ・給食前や午睡前など、生活の節目に絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。
- ・5歳児は、給食後に図書室で本を楽しむ時間を設け、読みたい本があれば自由に取って好きな場所で本を楽しんでいます。



3. その成果と評価

助成していただいた本によって、日々保育者が読み聞かせのために選ぶ絵本や紙芝居の選択肢が増え、お子さんも夢中になって本の世界に集中しています。



絵本や紙芝居、図鑑によって、たくさんの選択肢の中から自分の好きなものを選んで本を楽しむことができます。ひとつの絵本に皆が集まり「見て！見て！」「すごいね！」と会話を楽しむ姿や、ひとり落ち着いて本に集中する姿など、お子さんそれぞれの楽しみ方で本に親しんでいます。

自分で本が選べることで、お子さんの気持ちを尊重でき、集中して自分の興味関心を深めることができます。



5歳児の皆が図書室で本を楽しむ姿を見て、3、4歳児のお子さんが顔を覗かせる姿も見られます。



4. 今後の課題と展望

現状、5歳児は読みたい本を自由に楽しむことのできる時間があり、図書室での読み聞かせの機会もありますが、5歳児が本を楽しむ意欲的な姿を3、4歳児に十分に伝えることができているかと言うとそうではありません。また、5歳児クラス以外のお子さんは、図書室での読み聞かせが頻繁に行うことができていないのが現状です。

今後は5歳児だけでなく、各クラスが図書室で本を楽しみたいと思うことができるよう、壁一面の本棚がすべて埋まるくらい多くの本を用意し、「図書室に行きたい！」と意欲的になる環境を作っていきたいと考えています。



以上